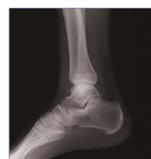


# ほう しゃ せん からだ 放射線が体にあたると、どうなるの？

わたし し ぜん  
私たちは、自然からいつも  
ほう しゃ せん う  
放射線を受けています。



ほう しゃ せん はたら つか  
放射線の働きを使った  
ものもたくさんあります。



(出典) 文部科学省「放射線について考えてみよう小学生のための放射線副読本」

ほう しゃ せん からだ  
しかし、放射線がたくさん体にあたると、  
けん こう よ  
健康に良くありません。

## 【原\_資料113】 放射線が体にあたると、どうなるの？(中学年用)

- 私たちの身のまわりには放射線があり、宇宙、地面、空気、食べ物などの自然界から常に放射線を体を受けています。
- また、放射線には私たちの生活に役立つ様々な働きがあり、レントゲン写真やタイヤの耐久性向上や、病院で使う注射器などの滅菌等で放射線が使われています。
- しかし、たくさんの放射線が体にあたると、やけどをしたり、がんなどの病気になったりすることがこれまでの研究や調査で確かめられています※。
- ただし、放射線が体にあたっても、風邪などをひくときのウイルスとは異なり、人から人へ放射線がうつることはありません。

参考: 文部科学省「小学生のための放射線副読本～放射線について学ぼう～」p.12

※身体に受けた放射線量に応じた影響についての詳細は、国立研究開発法人 放射線医学総合研究所による「放射線被ばくの早見図」

(<http://www.nirs.go.jp/information/event/report/2013/0729>よりダウンロード可能)を参考のこと。